

令和 4年度 シラバス 教科【 国語 】 科目【 古典A 】

科目の目標

学校教育目標	知識・技能		思考・判断・表現		学びに向かう力・人間性等		
	理解力	生活力	分析力	表現力	関心力	受容力	向上力
科目で育成する資質・能力	言葉の特徴や使い、我が国の言語文化に関する事項を身につけ、理解を深めることができる。	先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方を豊かにし、読書の意義について理解することができる。	文章の種類を踏まえて、構成や展開、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉え、作品の価値について分析することができる。	言語活動を通して、調べて発表したり、論述したりすることができる。	古典の作品や文章などに表れているものの感じ方、考え方を理解しようとすることができる。	多様な価値観やものの見方、考え方、感じ方を受け入れ、自らのものの見方、考え方や感じ方を深めることができる。	古典の作品や文章などに表れているものの感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げようとする。
評価の観点の趣旨	・言葉の特徴や使い、我が国の言語文化に関する事項を身につけ、理解を深めようとしている。・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。		・文章の種類を踏まえて、構成や展開、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉え、作品の価値について分析しようとしている。・言語活動を通して、調べて発表したり、論述したりすることで、自分の考えや思いをわかりやすく表現しようとしている。		・古典の作品や文章などに表れているものの感じ方、考え方を積極的に理解しようとする。・学習を通して多様な価値観やものの見方、考え方、感じ方を受け入れ、自らのものの見方、考え方や感じ方を深めようとしている。・古典の作品や文章などに表れているものの感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げようとしている。		
評価の方法	ワークシート 定期考査	ワークシート グループワーク	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート グループワーク	ワークシート グループワーク	ワークシート グループワーク

指導領域	【A】 話すこと・聞くこと	【B】 書くこと	【C】 読むこと	【A】 + 【B】 + 【C】
授業時数の計			70	70

年間計画

単元	学習内容	配当時数	特に重視する資質・能力	評価の観点と規準
古文の基礎を確認しよう	時代背景を踏まえ、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。（「平中が事」「文字一つの返し」）	8	【理解力】 言葉の特徴や使い、我が国の言語文化に関する事項を身につけ、理解を深めることができる。	【知識・技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえ、古典特有の表現に注意しながら内容を的確に捉えている。 【主体的に取り組む態度】 作品に興味を持ち、音読して文体の特徴を味わったり、古典特有の表現に注意して内容を捉えようとしている。
漢文の基礎を確認しよう	文章の種類や時代背景を踏まえ、構成や展開、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。（故事・寓話）	7	【生活力】 多様な価値観やものの見方、考え方、感じ方を知り、自らのものの見方、考え方や感じ方を豊かにできる。	【知識・技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に取り組む態度】 音読をして漢文のリズムを味わおうとしたり、先人のものの考え方に触れ、自分の物の見方、考え方を広げようとしている。
随想を読んでみよう	体験に基づく随想を読み、表現に注意し物事を捉える。（「枕草子」）	6	【受容力】 多様な価値観やものの見方、考え方、感じ方を受け入れ自らのものの見方、考え方や感じ方を深めることができる。	【知識・技能】 作品を通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 古典の作品や文章について、内容や解釈と自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めている。 【主体的に取り組む態度】 先人のものの考え方に触れ、自分の物の見方、考え方を広げようとしている。
詩歌に触れてみよう（1）	詩歌や、「歌物語」の中の、和歌のリズムや表現の特色を知り、その効果を理解する。（「万葉集」、「古今和歌集」、「新古今和歌集」、「伊勢物語」）	4	【理解力】 詩歌の表現技法について理解し、文中にある表現技法を分析的にみることができる。	【知識・理解】 言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めようとしている。 【思考・判断・表現】 作品の書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章構成や展開、表現の特色について評価しようとしている。 【主体的に取り組む態度】 言葉の響きやリズム、表現の特色がどのような効果をもたらすか考えようとしている。

詩歌に触れてみよう(2)	漢詩のリズムや表現技法を知ろう	3	【理解力】 詩歌の表現技法について理解し、文中にある表現技法を分析的にみることができる。	【知識・技能】 言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めようとしている。 【思考・判断・表現】 作品の書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章構成や展開、表現の特色について評価しようとしている。 【主体的に取り組む態度】 言葉の響きやリズム、表現の特色がどのような効果をもたらすか考えようとしている。
読み取った内容をもとに、作品の価値を考えよう	登場人物の心情や人間関係を表現に即して読み取る。(「竹取物語」「伊勢物語」「源氏物語」)	14	【分析力】 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考えることができる。	【知識・技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めようとしている。 【思考・判断・表現】 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考えようとしている。 【主体的に取り組む態度】 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の価値について考えようとしている。
自分の考えを広めよう	登場人物の心情や人間関係を表現に即して読み取る。(「史記」)	15	【向上力】 古典の作品文章などに表れているものの感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げようとする事ができる。	【知識・技能】 先人の物の見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義を知ろうとしている。 【思考・判断・表現】 文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広めたり深めたりしている。 【主体的に取り組む態度】 登場人物の描写から、人間の心のありようについて考えようとしている。
言葉について考えよう	場面展開や人物の性格・心理の描写を読み取りるとともに、情景を支える言葉や表現方法に注目し、言葉の変遷について考える。(「平家物語」)	5	【関心力】 言葉の変遷や時代背景を踏まえた言葉の使い方について考えることができる。	【知識・理解】 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めようとしている。 【思考・判断・表現】 文章や表現方法について内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 【主体的に取り組む態度】 言葉の変遷や時代背景を踏まえた言葉の使い方について理解を深めようとしている。
自分の考えを広めよう(2)	人物像を表現に即して読み取る。(「大鏡」)	5	【表現力】 読者を引き込む構成や論理、表現の巧みさ、筆者の見解を的確に理解する。そして、それに対する自分の考察を深めて意見をまとめ、文章で表現する。	【知識・技能】 先人の物の見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義を知ろうとしている。 【思考・判断・表現】 文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広めたり深めたりしようとしている。 【主体的に取り組む態度】 描写の巧みさや、登場する人物に対して自分の見解を見いだそうとしている。
幻想文学を読み、現代の幻想文学と比較しよう	幻想文学のおもしろさとその系譜を考える。(「枕中記」)	3	【表現力】 我が国の古代から受け継がれる幻想文学の系譜を中国の幻想文学と比較検討し、類似点や相違点を見だし、文章にまとめることができる。	【知識・理解】 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 【思考・判断・表現】 古典の作品や文章について、内容や解釈と自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めている。 【主体的に取り組む態度】 先人のものの考え方に触れ、自分の物の見方、考え方を広げようとしている。

備考

--